

ケアマネ通信

令和7年8月9日発行



第24号
2025
Aug.



第9回 通常総会

理事長あいさつ

このたび、神奈川県介護支援専門員協会の理事長に就任いたしました小藪基司でございます。関係者の皆さまには、日頃より当協会の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本協会は、県内の介護支援専門員の資質向上と、地域に根ざした包括的なケアの推進を目的に、多くの仲間とともに歩んでまいりました。制度創設から25年が経過し、社会における介護支援専門員の使命は一層重要性を増しています。

その一方で、処遇や就業環境、生涯にわたる研修の在り方など、専門職としての働きやすさや誇りを支える基盤について、私たちは真摯に向き合っていかなければなりません。これまでは制度改定に「適応」する姿勢を大切にしてきましたが、これからは制度設計そのものへの「関与」を強める必要があると考えています。

介護支援専門員の地位や処遇の向上には、広く社会や国民の理解と合意が不可欠です。ケアは人が生きるうえで欠かせない営みであり、その価値に見合うコストを支払うという社会的な認識の変革が求められています。厳しい道のりではありますが、皆さまと力を合わせて、その実現に向けて挑戦していきたいと思っております。

今後とも、当協会の活動に温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

一般社団法人 神奈川県介護支援専門員協会 理事長 小藪 基司

目次

神奈川県介護支援専門員協会 第10期・11期 理事紹介 …	2
第9回通常総会・基調講演レポート …	4
ケアマネリレーコラム …	5
オンライン研修レポート …	6

ケアマネあるある …	7
編集後記 …	7
インフォメーション …	8

神奈川県介護支援専門員協会

第10期・11期 理事紹介

■理事長

小藪 基司 (すすき野地域ケアプラザ)

■副理事長

今田 義昭 (居宅介護支援事業所 みずのと)
 岩本 朋子 (大磯町西部地域包括支援センター)
 倉橋 照代 (ありがとうみんなファミリークリニック平塚)
 土田 陽子 (居宅介護支援事業所コルク)
 早野 眞理 (ケアステーション 優縁)

■理事

青地 千晴 (そらいろケアプラン)
 石田 貢一 (ホームケアcocoro)
 井上 敦士 (居宅介護支援センター 鵠生園)
 遠藤 奈由巳 (NPO法人ぽっかぽか)
 兼武 美保 (介護支援サービス 守の会)
 木内 健太郎 (くらしの相談ステーションおおいそ)
 小泉 純子 (合同会社わかばケア)
 駒井 克行 (J Aデイサービスあいかわ)
 近藤 誠 (セントケア茅ヶ崎)
 佐藤 明 (地域包括支援センター泉正園)
 佐藤 美保 (オギクボ薬局介護支援センター)
 諏訪部 弘之 (フィオーレ久里浜 居宅介護支援室)
 高城 勇太 (浏野辺総合病院居宅介護支援センター)
 山本 玲子 (オギクボ薬局介護支援センター)

新理事紹介

倉橋 照代

社会構造が大きく変わる中、様々な課題が存在しています。目の前の方たちに影響しているそれら複数の絡み合った課題を、背景も含めて理解する努力を続け、ケアマネジャー一人一人が自分の支援を信頼できるよう一緒に取り組みます。そして、時代の変化に合わせながらも、おもねることなく、ケアマネジャーの専門性を確立してまいりましょう。

井上 敦士

初めまして。施設ケアマネ、地域包括、現在は居宅ケアマネと、長年この業界に従事しています。この仕事の「やりがい」や「満足度」のアップを、現在従事している方々、これから従事しようとする方々に向け、この協会を通して共に感じていけるよう、尽力致します。どうぞよろしくお願いいたします。

遠藤 奈由巳

今期、理事に就任いたしました遠藤です。現場のケアマネジャーの専門性が正当に評価され、安心して支援が続けられる環境づくりに努め、皆さまの声に耳を傾け、より透明性のある体制作りができるよう尽力いたします。また、ケアマネジメントの質の向上ができる研修構築に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

兼武 美保

これまで、本協会では主任介護支援専門員部会の部会員として研修構築や講師を行ってまいりました。その中で、特に専門職としての資質向上や生涯学習の大切さ、育成の重要性を多く学びました。今後は、理事として自身の経験を活かしつつ活動していきたいと考えております。宜しくお願い致します。

木内 健太郎

この度、神奈川県介護支援専門員協会理事に就任した木内と申します。県協会理事職を私のモットーである“パッション”全開で務めたいと思っております。地域で活動する仲間の現状を伝える代弁者として、そして仲間が欲している情報を届ける役として粉骨砕身頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小泉 純子

これまで積み重ねてきた地域での実践と県での取り組みをつなぎ、現場との架け橋となれるよう努めてまいります。介護支援専門員を取り巻く環境は変化の激しい時代がありますが、次世代が希望を持てる社会を目指し、できることから行動していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

駒井 克行

県協会の広報誌にも書きました「良いケアマネとは+の影響力が発揮できるケアマネ」を信念に、理事として活動の幅を広げながら、魅力ある研修等を構築して県協会に貢献ができるようにと考えています。そして、自分に何ができるのか探し続けることも楽しみながら任期を務めたいと思います。

近藤 誠

この度10期・11期の理事を拝命しました近藤誠と申します。今回の理事就任にあたり身の引き締まる思いでおります。今後はケアマネジャーの魅力を多く発信していき、より多くの方がケアマネジャーになって良かったと思える様に、微力ながら頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

高城 勇太

私が取り組みたいことは「ケアマネジャーの魅力発信、やりがい創出」です。魅力ある資格にすることで、試験合格者が仕事に従事し、やりがいを見出し事業所に定着する。そして事業所のリーダーになる。そんな好循環が当たり前になるような職種としたい。このビジョンを軸に県協会の運営に貢献したいと考えています。

第9回通常総会・基調講演レポート



令和7年5月31日（土）、ウィリング横浜にて一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会「第9回通常総会」および「第32回理事会」が開催されました。すべての議案が滞りなく承認されたことをご報告申し上げます。ご多忙の中ご参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

本年度より、小藪基司新理事長のもと、新たな体制がスタートいたしました。新理事として7名が新たに就任し、理事会の顔ぶれも一新されました。新体制のもと、より一層地域に根ざした活動と、ケアマネジャーの専門性向上に資する取り組みを推進してまいります。小藪理事長の就任挨拶および新理事の紹介は、表紙および2ページより掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

また、総会と併せて開催された基調講演では、「社会保障と財政」をテーマに、慶應義塾大学経済学部教授・井手英策先生をお招きし、ご講演を賜りました。講演では、まず日本社会の現状について、平成の30年間で一人当たりGDPが世界4位から26位に転落した事実を挙げ、「日本は今や発展途上国一歩手前の状態にある」と表現されました。さらに、自己責任を強調する社会構造が、分断と孤立を生み出していると指摘し、そのような社会のあり方に対し、井手先生は「弱者を生まない社会」の実現を目指す構想として、「ベーシックサービス」の導入を提唱されました。この「ベーシックサービス」とは、医療・介護・教育・障がい者福祉といった基本的なサービスを、所得や就労状況にかかわらず、すべての人に無償で提供するという構想です。現金給付を行うベーシックインカムとは異なり、必要な人が必要ときに必要な支援を受けられる「現物給付」によって、生活の安心を支える仕組みです。井手先生は、こうした制度が「自己責任社会」から「共助・連帯の社会」への転換を促し、ケアマネジャーをはじめとする福祉専門職が、単なる制度の担い手ではなく、地域の希望と安心を支える存在として再定義されるべきだと語られました。講演では、ご自身の原体験にも触れながら、「誰もが尊厳を持って生きられる社会」の必要性を熱く訴えられました。講演後のアンケートでも多くの共感の声が寄せられており、大変充実した基調講演となりました。

広報出版委員長 佐藤

～神奈川県で働くケアマネジャーが日々思ったことなどを綴っていきます～

ケアマネリレーコラム

ひかりデイサービス妻田 遠藤 貴子

皆さまこんにちは。JAデイサービスセンターあいかわの駒井さんよりバトンをいただきました遠藤と申します。私が所属する事業所は、神奈川のほぼ真ん中の厚木市にあるデイサービス併設の居宅介護支援事業所です。女性3名、男性1名の計4名でお仕事をしています。

ケアマネの資格を取って丸17年、ちょうど18年目に入ったところです。世間的にはベテランといわれる年数ではありますが、私たちの仕事は毎日が目まぐるしく変わります。

新しいこともたくさん覚えなければならぬし、頭の中のアップデートは欠かせません。経験年数は多くなって、たくさんのケースにかかわってきて、経験値も上がってはいるけれど、まだまだ初めて経験することも多いのです。

もちろんベテランっぽく振る舞う（振る舞わなくてはならない笑）場面もありますが、初心も忘れてはならないな、ということを常に思っています。年齢を重ねて硬くなった頭を、いかに柔らかく保つことができるか。ケアマネを続けてい

るうえで、いつも考えていることです。

「それはできません」ではなくて、「どうしたらできるだろう？」と、できる方法を考え続けたいと思っています。

それは簡単ではないけれど、一人では思いつかないことも、仲間やチームの皆で知恵を出し合って乗り越えてきたことがたくさんあります。どんな小さな出会いでも、できたご縁は宝物だと思っています。今まで出会ってくれた多くの皆さんのおかげで、私は今でもケアマネを続けていられると感じています。

今まで出会ってくれた皆さん、これから出会う皆さんに感謝を伝えたくて、リレーコラムをお引き受けいたしました。

これからもどうぞよろしくお願いいたします！



オンライン研修レポート

先日、ICT活用のオンライン研修に参加してまいりました。コロナ禍以降、Zoomなどのオンラインツールが急速に普及し、各種分野で気軽に参加できる研修が開催される中、今回の研修は参加費無料で、カメラのオンオフや入退室も自由という柔軟なスタイルで、参加しやすい環境で実施されていました。

研修では、ラインワークスやGoogle Keep、ノートブックLMなど、多種多様なICTツールの具体的な使い方が紹介されました。たとえば、iPhone Proで撮影した動画を図面に変換する方法、名刺を写真撮影するだけで自動的にアドレス帳に取り込むツール、さらにはiPhoneのボイスメモ機能を活用して音声を文字起こしすることで、訪問記録や会議の議事録を簡単に作成できる手法など、実践的な事例が豊富に取り上げられていました。直接的にはケアマネジャーの業務に直結しない部分もありましたが、ICTの進化とその適用の幅広さを改めて実感する貴重な機会となりました。

また、研修を通じて、まだ知らなかった便利なツールが多数存在することに気づくと同時に、ICTを使いこなすためには正確な情報の収集と柔軟な発想が必要であると感じました。実際に、ツールを巧みに活用している方々の事例を聞くことで、日常業務の効率化や工夫のヒントも多く得られ、今後の業務改善に向けた刺激を受けました。

Zoomというツールも使い始めた当時は、どう使うか分からないという声も多かったと思いますが、もう当たり前に活用していると思います。ツールを知ること、慣れること、使い方の発想を得ること。これらは一人では難しいと思います。ぜひ身近なケアマネジャーと活用術を探してみたいかがでしょうか。

具体的なセミナーの開催団体は伏せさせていただきますが、「ICT 介護 活用 無料」といった検索で、色々見つかりますよ！

広報出版委員 (S)

ケアマネあるある

早くも猛暑で外を歩きたくな〜いと思うこの頃です。最近、男性も日傘、子供も日傘をさしている光景を目にします。時代の変化と気候の変化でしょうか。

変化といえば、最近よく取り上げられているカスタマーハラスメントに悩まされた経験が、皆さんあると思うのですが、最近依頼を受けると、ほぼこのような方々に当たります。昔に比べて断然増えています。同僚のケアマネも憂鬱、頭が痛い、ため息、甘いものに走るなど、色々な感情を事業所内では出しています。皆さんの職場はどうですか。

元来、気が短い私なので、あまりに理不尽なことを言われたり、ご本人はともかく、ご家族から一方的に攻められたりすると（理解不足からの思い込みや、権利者意識が強い）、思わず言い返してしまいそうになるほどの感情が沸き上がりますが、ここは押さえてと自分に言い聞かせ、感情をコントロールしています。当たり前ですが疲れますよね。アンガーマネジメント研修等受けたりしていますが…

でもストレス発散することが一番ですね。ペアッと発散して、気持ちを切り替えましょう。
♥この過酷な仕事をあえて楽しんでいる変態チックな仲間と共にがんばりましょ♥。

広報出版委員 (M.S.)

編集後記

先週、サービス付き高齢者住宅にご入居中の利用者様のサービス担当者会議を行いました。

彼とは長いお付き合いになります。25年前、56歳で脳梗塞を発症され、入院・リハビリを経て、右半身麻痺・高次脳機能障害・失語症が残りました。その後、ご自宅での生活を送られることになり、私がケアマネジャーとして担当することになりました。退院前には住宅改修として手すりの設置などを行い、ご家族のご希望により、リハビリ中心のケアプランを作成しました。

それから本当にいろいろなことがありました。脳梗塞の再発、転倒による骨折、介護者である奥様の狭心症によるカテーテル手術——これを機に、今から4年前、サービス付き高齢者住宅にご入居されました。それでもご家族の希望により、週2回のデ

イケア利用を継続され、雨の日も風の日も、奥様が送迎されていました。

今回の会議は、今年3月頃から、妻によるデイケアサービスの送迎時に車椅子からの立ち上がりや車の座席への移動の際に転倒が見られ、足に力が入らなくなってきたことをきっかけに、奥様がその変化に気づき、検査を受けた結果、前立腺がんと診断され、医師より、すでにリンパや骨への転移も確認されたとのことでした。その報告をもとに、今後の往診医を中心に医療体制の構築について話し合いました。

彼には感謝の気持ちしかありません。多くのことを、彼との関わりの中で学ばせていただきました。もうしばらく、ケアマネジャーとして関わらせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

広報出版委員 前田

■第19回 一般社団法人 日本介護支援専門員協会 20周年記念全国大会のお知らせ

時代を担って、次代を拓く ～つなぎたい介護支援専門員の未来～

会期：令和7年11月1日(土)・2日(日)

会場：東京国際フォーラム（JR 有楽町駅より徒歩1分・東京駅より徒歩5分）

定員：1,200名（先着順）

詳細は、一般社団法人 日本介護支援専門員協会ホームページで、ご確認ください。



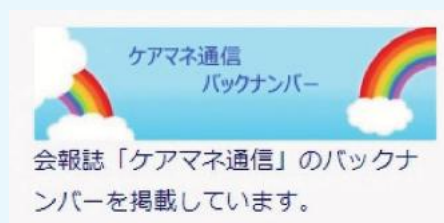
■ケアマネ通信 アンケートご協力のお願い

今後のケアマネ通信がより良いものになるよう、アンケートを実施しております。

当協会ホームページ「ケアマネの森」のトップページ「ケアマネ通信バックナンバー」より、

アンケート(Google フォーム)にご協力ください。
<https://www.care-manager.or.jp/iinkai/kouho.html>

お手持ちのスマートフォンからも、ご回答いただけます。
会員の皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。



■メールアドレス登録のお願い

会員の皆様へ、当協会主催研修等の情報をメールでご案内しています。

メールアドレスの登録がお済みでない方は、当協会ホームページ「ケアマネの森」のトップページ「メールアドレスご登録のお願い」より、ご登録をお願い致します。

メールアドレスを変更したい方も、こちらから変更をおこなってください。



◎編集 / 発行

一般社団法人

神奈川県介護支援専門員協会

広報・出版委員長 佐藤 明



Facebook
はこちら↑



ホームページ
ユーザーはこちら↑

Contact

一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会 事務局
〒231-0023

横浜市中区山下町 23 番地 日土地山下町ビル 9 階

TEL 045-671-0284 FAX 045-671-0287

E-mail jimu@care-manager.or.jp

H P <https://www.care-manager.or.jp/>